

平成30年度シート

分担金・ 拠出金名	コロンボ計画分担金	種別	分担金	30年度 予算額	1,949千円	総合評価	C
拠出先 国際機関名	コロンボ計画						
国際機関等 の概要及び 成果目標	<p>(1) 設立経緯等・目的：コロンボ計画は、アジア・大洋州地域の経済社会開発を支援し、加盟国間の技術協力を促進することを目的とし、1950年の英連邦外相会合を契機に1951年に設立。現在の加盟国は26か国。日本は、1954年に加盟。</p> <p>(2) 拠出の概要及び成果目標：本件拠出金は、コロンボ計画の運営費に充てられ、南南協力の積極的な推進を目標とする。</p>						
1 専門分野 における活 動の成果・影 響力	<p>・コロンボ計画は、アジア・大洋州地域のネットワークを用いて、加盟国のニーズに対応した地域の経済・社会開発の促進のための触媒的な役割を果たしており、技術協力プロジェクトの実施や南南協力の活動を通じて麻薬対策を始めとする地球規模課題に取り組んでいる。また、南南協力においては、各加盟国がコロンボ計画を通じた支援に積極的に取り組んでおり、地域の連結性強化に有効なツールとなっている。</p> <p>・南南協力として、具体的には、行政・環境プログラム（加盟国公共セクターの人材開発）、長期奨学金プログラム（加盟国行政官の就学支援）、民間部門開発プログラム（中小企業振興）、麻薬アドバイザー・プログラム（特に、アフガニスタンにおける麻薬対策）、ジェンダープログラム（ジェンダー対策支援）などを実施している。2017年には109件の研修プログラムを実施し（2016年比、+38件）、3,680名が参加した（同比、+2,074名）。</p> <p>・持続可能な開発目標（SDGs）の目標3（保健）に関し、特に、麻薬対策に重点的に取り組んでおり、各国において薬物需要削減のためのプログラムを実施。青少年による薬物使用の予防や治療に向けた意識啓発の面で成果を上げている。2017年は、麻薬対策により約10万人が裨益。</p> <p>・特に、麻薬対策分野では、アクセスが困難な辺境地域等での治療センターの運営等に関し、米国等の多額の支援を受けて、事業を効果的に実施している。また、同分野では、国連薬物・犯罪事務所（UNODC）等の他の国際機関とも緊密に連携し、麻薬対策、薬物治療等に精通する専門家の世界的なネットワークを有している。</p>						
2 組織・財 政マネジメ ント	<p>・外部監査 対象年度：2015年度、実施主体：スリランカ会計検査院長官、報告・提出月：2017年12月、結果及び対応：特段の指摘事項なし。 ※2016年度分は、2018年7月頃に提出される見込み。</p> <p>・審議会及び事務局に関する規則により、コロンボ計画の監査は、スリランカ会計検査院長官が実施すると定められている。また、資金利用は適正であると評価されている。</p> <p>・財政状況の報告 報告・提出月：2017年12月（2015年度）（2016年度分は、2018年7月頃に提出される見込み。）</p> <p>・事務局は、年3回開催される審議会における加盟国代表団との協議や行政・財政事項を協議する非公式の運営委員会での協議を通じ、限られたリソースの有効活用、具体的な成果を重視する組織運営の手法を導入しつつある。</p> <p>・2014年4月の事務局長選挙後、次回の事務局長選挙に向け、公平かつ透明性のある選挙プロセスを策定する必要があったところ、日本がイニシアティブをとり、選挙プロセスの文書化を主張したところ、その主張が受け入れられた形で、選出プロセスを明示化した選挙ガイドラインが策定された。</p>						
3 日本の外 交課題遂行 における有 用性・重要性	<p>・日本は、1954年のコロンボ計画への加盟を契機に、アジア・大洋州地域の経済社会開発に係る技術協力を本格的に開始。コロンボ計画加盟を閣議決定した10月6日を「国際協力の日」としている。日本は、コロンボ計画のアジア地域のネットワークを用いて、南南協力の枠組みを支援するとともに、麻薬対策を始めとする地球規模課題の取組を推進している。南南協力を通じた開発途上国における効果的かつ的確な能力構築に対する国際的な支援の強化は、SDGs等の達成手段とされており、日本の外交政策上重要である。また、コロンボ計画がノウハウを持つ薬物使用障害患者の治療・社会復帰支援は、治安改善や地域の安定化につながると考えられ、日本としてもコロンボ計画の取組を重視している。</p> <p>・フィリピンにて薬物がテロ組織（ISIS等）の資金源となっていることを踏まえ、薬物犯罪者の増加を抑制し、同国の治安回復を図ることを目的とし、2016年度補正予算にて約9,800万円を拠出し、コロンボ計画がフィリピン政府の取組を相互補完する形で、コミュニティベースでの治療・社会復帰の能力向上支援を実施するため、2年間で薬物使用患者の立ち寄り施設6つの設立及び村落ベースの治療キャンプの実施を行った。</p> <p>・コロンボ計画は、カンボジアを除く東南アジア諸国連合（ASEAN）諸国及び南アジア地域協力連合（SAARC）諸国等が加盟し、加盟国が同額を拠出する義務を有している一</p>						

	<p>方、加盟国の多くは域内の途上国であり、アジア・大洋州地域との間で良好な関係を築いている日本が、引き続き国際機関と連携して地球規模課題解決に貢献していくことが重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロンボ計画は、最高意思決定機関である協議委員会（隔年開催）、技術協力や予算等について協議を行う審議会（1年に3回実施）、行政・財政事項を協議する非公式の運営委員会及び事務局から成り、日本は各種意思決定に参加している。 ・非公式の運営委員会は、加盟国のうち各地域の代表国として6か国が参加するものであり、日本はこれまでも委員を務めてきており、2017/2018年度も引き続き同委員を務めることとしている。 													
4 日本人職員・ポストの状況等	加盟国等の数	全職員数 (専門職以上。以下同じ。) (2017年12月末時点)	うち、 日本人職員数	うち、 日本人幹部職員数	日本人職員の比率 (2017年12月末時点)	日本人職員数 (前年同時期)	日本人幹部職員数 (前年同時期)							
<table border="1" data-bbox="206 435 2190 491"> <tr> <td data-bbox="206 435 492 491">26</td> <td data-bbox="492 435 772 491">1</td> <td data-bbox="772 435 1052 491">0</td> <td data-bbox="1052 435 1332 491">0</td> <td data-bbox="1332 435 1624 491">0%</td> <td data-bbox="1624 435 1904 491">0</td> <td data-bbox="1904 435 2190 491">0</td> </tr> </table> <p>その他特記事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職以上の事務局内ポストは事務局長のみであり、現職の事務局長の任期が2018年5月～2022年4月のため、現在、日本人が事務局内に専門職以上のポストを得ることは困難である。 ・現在事務局に日本人職員はいないが、日本は運営委員会や審議会等の場で積極的に意思決定に参加するなどしてプレゼンスの確保に努めている。 								26	1	0	0	0%	0	0
26	1	0	0	0%	0	0								
5 PDCAサイクルの確保等	PLAN	特別審議会にて2か年予算案の策定及び承認。各加盟国には一律同額の分担額が課される。												
	DO	日本から分担金拠出。コロンボ計画による予算執行。年3回の審議会での議論や事務局との不定期の協議を通じて、コロンボ計画の活動をモニタリング。												
	CHECK	コロンボ計画による年次報告書、監査報告書及び財政報告書等により成果を評価。												
	ACT	協議委員会、審議会及び運営委員会での議論や事務局との不定期の協議を通じ、必要に応じて改善を提言。												
<ul style="list-style-type: none"> ・日本を含め、全加盟国からの拠出金は、運営管理費として一括して管理されるため、日本からの拠出は特定できない。 														
担当課室名	国別開発協力第一課													